

評価結果反映報告書

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの 2020 年度業務実績評価結果および第三期中期目標期間業務実績評価結果の主要な反映状況

評価項目	評価における主な指摘事項	2021 年度の業務運営等への反映状況
2020 年度業務実績評価 全体評価	新たに設置した内部監査部の機能を十分に発揮させ、適正な運営を維持していくことが望まれる。	内部監査部は、所内の内部統制に関する取組を総括する部署として、内部監査計画および点検項目の策定を行い、適切に監査を実施した。 また、役職員が遵守すべき行動指針について記載した「コンプライアンスガイド」を新たに作成し、全職員向けの研修資料として用いることで意識向上を図るなど、適正な組織運営に資する取り組みを行った。
2020 年度業務実績評価 全体評価	東京都の D X (デジタルトランスフォーメーション) 化をリードするべく、都産技研自身の D X 化を積極的に進める取組を講じていくことが望まれる。	デジタル化推進室を立ち上げ、以下の取組を通じて都産技研の D X 化を推進した。 ・デジタル化推進に関する規定類の新規策定 ・クラウド型オフィスツール・グループウェアとして Microsoft365 を選定、全所導入に先駆けてデジタル化推進室で先行導入・検証 ・Microsoft365 を生かし、場所に縛られない働き方を実現するため、事務用端末としてノート PC を調達 ・本部 2 階会議室 1 室を WEB 会議室改修、3 階にフリーアドレスオフィスを設置、4 階執務室に個室ブースを設置するなど、職員がノート PC を持ち運び、目的に応じて自由に働ける場所を整備

<p>第三期中期目標期間業務 実績評価 全体評価</p>	<p>5G技術を活用した支援などの先端的な取組や、SDGs、ゼロエミッションを踏まえた取組を推進するとともに、具体的な取組成果を対外的に発信していくことが望まれる。</p>	<p>「中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業」において、DX推進センターに既存のミリ波帯に加えてSub6帯のローカル5G基地局を追加整備した。また、中小企業の5Gを活用したロボットやIoT関連の製品開発を支援する公募型共同研究等を実施するなどして、5G技術を活用する支援事業に取り組んだ。</p> <p>合わせて、社会的課題解決支援事業として、「プラスチック代替素材を活用した開発・普及プロジェクト」「バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業」「障害者スポーツ研究開発推進事業」を継続実施した。</p> <p>新たに、モビリティ産業に対する支援環境の強化を図る「ゼロエミッションに資するモビリティ産業支援事業」を東京都に提案し、2021年度から実施の承認を受けた。</p> <p>取組成果の対外的な発信については、ウェブサイトや刊行物への掲載、プレス発表、展示会への出展、見学等により適宜実施した。</p>
<p>第三期中期目標期間業務 実績評価 全体評価</p>	<p>東京都のDX（デジタルトランスフォーメーション）化をリードするべく、都産技研自身のDX化を積極的に進める取組を講じていくことが望まれる。</p>	<p>デジタル化推進室を立ち上げ、以下の取り組みを通じて都産技研のDX化を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化推進に関する規定類の新規策定 ・クラウド型オフィスツール・グループウェアとしてMicrosoft365を選定、全所導入に先駆けてデジタル化推進室で先行導入・検証 ・Microsoft365を生かし、場所に縛られない働き方を実現するため、事務用端末としてノートPCを調達 ・本部2階会議室1室をWEB会議室改修、3階にフリーアドレスオフィスを設置、4階執務室に個室ブースを設置するなど、職員がノートPCを持ち運び、目的に応じて自由に働ける場所を整備